



## FACE

6号館3階 パソコン教室にて  
食物栄養コース2回生の活動風景



## VOICE

自分を変えてくれたのは、奈良佐保での〈出会い〉です。  
皆さんにもそんな〈出会い〉が必ず待っています。

勉強に実習に学校行事に大活躍の瀬山くんですが、入学当初からは雰囲気がガラッと変わりましたよね。

「そうですね。入学した頃は、人と話すのが本当に苦手で、すごい人見知りで（笑）。でも、1回生の夏頃から『こんなやつたらいつまでも自分が変わらん』って思って、思い切っているいろんな行事に積極的にかかわってみたり、それまで以上に仲間との活動を大切にするようにしました。そのうちに自分を外に出せるようになったというか、自分らしくいられるように変わったような気がします。」

なぜそんな風に自分を変えることができたんですか？

「自分を変えてくれたのは、出会いですね。奈良佐保には、いろんな出会いが転がっています。もちろん、見た目だけではその人のことを判断できません。一緒に課題に取り組んだり、その中でいろんなことを語り合ったりすることで、『この人の考え方は素敵だな、この人の行動はカッコいいな』って学ばせてもらえたからこそ、自分を変えようと一歩踏み出したんだと思います。」

では、今一番力を入れている活動は？

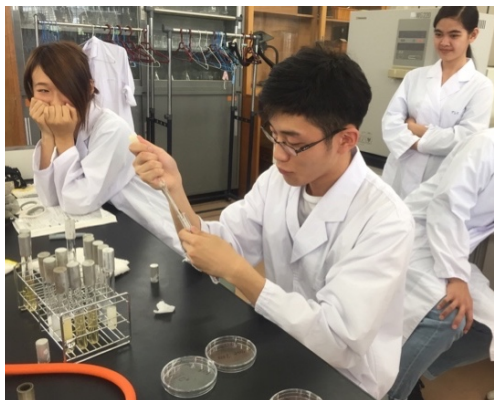
「給食管理実習が始まりました。チームで協力して一生懸命頑張っていて、楽しく、苦しく、実習に打ち込んでいます。給食の提供には、とにかく仲間とのコミュニケーションが試されていると思っています。互いの動きを気にかけて、声をかけあって取り組んでいるかどうか給食の提供に影響することを実感しました。それに、実習とはいえ実際に食券も買っているから『これは練習ではなく本物の仕事なんだ』と真剣に取り組んでいます。チームの『本気』と『努力』がまった給食を提供していきたいです。」



瀬山 時央さん  
奈良県立磯城野高等学校卒業

最後に受験生にメッセージをお願いします！

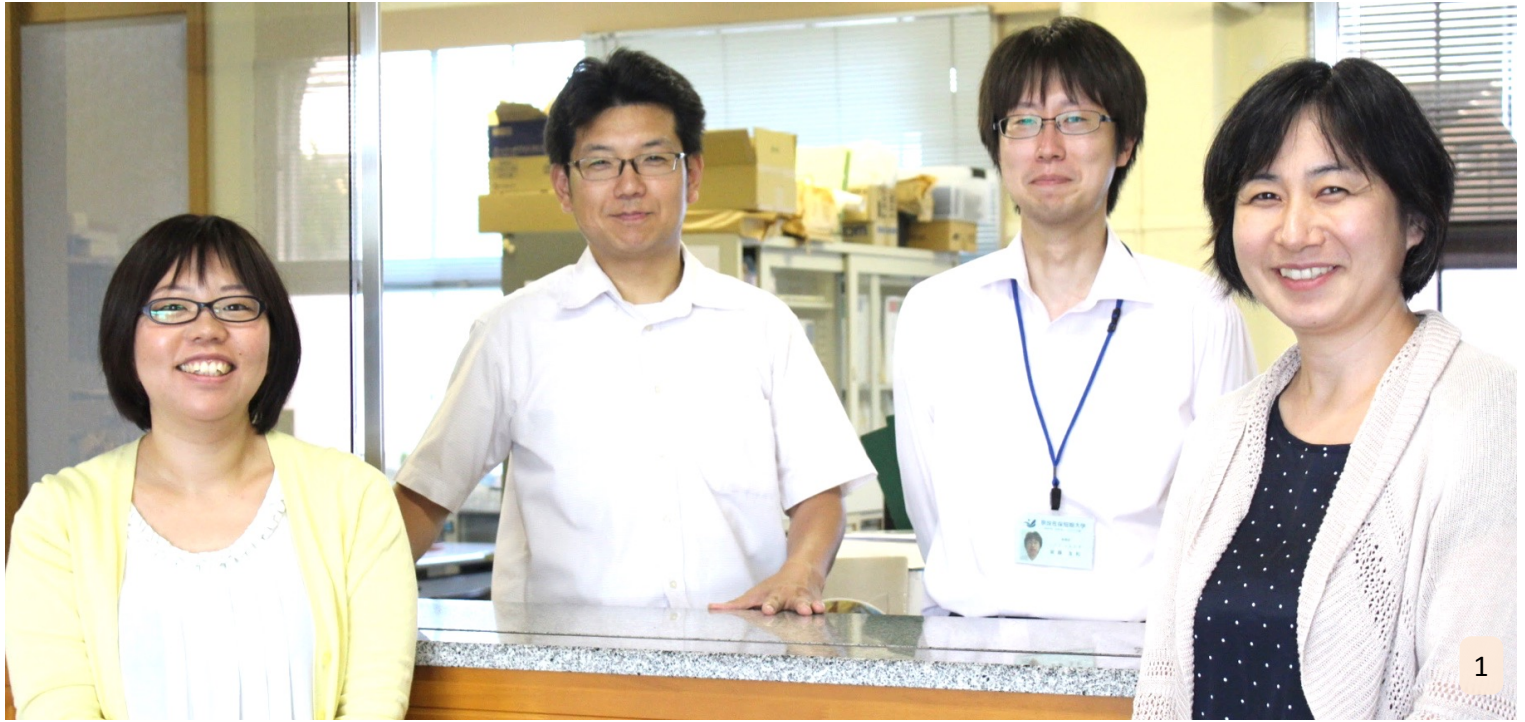
「大学に進学して新しい自分を見つけたいという受験生がいたら、その思いを支えてあげたいです。一緒に活動しながら、しっかり相手の話に耳を傾けて、その人らしさを引き出してあげたいですね。僕は奈良佐保でそういう経験を得て自分を変えられましたし、皆さんにもそんな出会いが必ず待っています。」



## 02

## 総務部

General Affairs



1

- 1 大学の窓口にて総務部のスタッフ勢揃い。長い時間をかけて鍛え上げたチームワークで、大学全体を支えています。
- 2 江本 友規子さんは、大学職員としての仕事は14年目。素敵な笑顔、穏やかな語り口、きめ細やかな心配りで大学全体に爽やかな風を運んでくれています。
- 3 大学職員としてのキャリアは11年目を迎えた紫藤 友和さんです。学生の皆さんを見守る眼差しはとともあたたかく、仕事の進め方はスマート & スピーディー！



3



2

## たくましく成長していく学生の皆さんを&lt;縁の下&gt;から支えます！

奈良佐保短期大学の魅力あふれる職員から受験生の皆さんへメッセージをお届けします。今回は、総務部のスタッフの出番です。まずは総務部の紹介からお願いします！

紫藤 「総務部は、大学全体を広く見渡しながらいろいろな仕事をしている部署です。文書管理、電話・来客対応、備品・消耗品管理、教育研究にかかわるお金の管理といった仕事をはじめ、施設修繕、警備員や清掃員との連絡調整もしますし、豊かな自然に囲まれた本学ならではの仕事として、万が一、『ハチが出た！ヘビが出た！』といった連絡が入れば私たちがすぐに出勤して、学生生活の安心・安全を守っています。大学の『何でも屋』ですね！」

江本 「総務部は、大学の<顔>にもなります。電話でも来客でも、私たちの対応の仕方一つで大学全体の第一印象が決まるんだと常に意識して、日々の仕事に向かっています。でも、総務部は<縁の下の力持ち>という役割もある

んです。学生の皆さんが思いっきり学生生活を楽しんで、目一杯学んで成長できるように、表立っては見えないところに、気づきにくいところに目を行き届かせて仕事をするのが総務部です。」

では、受験生の皆さんに奈良佐保短期大学の特色を紹介してください。

紫藤 「うちの自慢は、何と言っても学生です。他大学の学生にはない、素直さがあります。新しい発見、おもしろい挑戦を目の前にした時の目の輝きは、素敵です。それに、学生同士の絆も強いですね。空きコマや放課後に仲間同士で楽しく過ごしている風景が目に入ってくると、こちらも嬉しくなりますね。」

江本 「私は、この大学で多くの学生がたくましく成長を遂げていくのを見られました。現場実習から戻ってきた学生の皆さんの姿からは、はっきりとした成長をみてとれるんですね。

ハードルを乗り越えながら、一段ずつ、学生の皆さんの言葉や表情、佇まいが変わっていくのが、すごく頼もしいです。」

最後に受験生の皆さんにメッセージをお願いします。

紫藤 「もし進路に悩んでいる方がいたら、ぜひ奈良佐保短期大学に来ていただきたいです。悩みながらも構いません、2年間で絶対にこれからの可能性に出会えるはずですよ。」

江本 「進路選択は、長い人生の中で一つの分岐点だと思います。しっかり迷い、悩み抜いて、その先に本学への進学を選んでいただけたら嬉しいですね。悩んだ分だけ得られるものが、本学にはあります。皆さんにキャンパスでお会いできるのを楽しみにしています。」

「プチアセビ」のバックナンバー  
もご覧いただけます。

